

「特大荷物スペースつき座席」の追加設定について

東海道・山陽・九州新幹線では、国内外のお客様に、より安全で安心かつ快適にご利用いただくため、2020年5月より、「特大荷物※」を持ち込む際の事前予約制を導入しています。

このたび、より多くのお客様にこのサービスをご利用いただきやすくするため、客室内最後部の座席とその後方の「特大荷物スペース」をセットで発売する「特大荷物スペースつき座席」の座席数を拡大することとしましたので、お知らせいたします。

※縦・横・高さの3辺合計が160cmを超え250cm以内の大きな荷物。サービス概要やご予約方法など、詳しくはJR東海・JR西日本・JR九州のホームページ等をご参照ください。

1. 新たに「特大荷物スペースつき座席」に追加設定する座席

(1) 16両編成の列車

14号車・15号車・16号車の最後部座席（計15席）

※当該号車が自由席となるこだま号を除く

(2) 8両編成の列車

4号車・5号車の最後部座席（計6・8席）

※当該号車が自由席となる場合を除く

2. サービス開始日

2021年5月20日（木）ご乗車分から

※2021年4月20日（火）10時から予約開始

3. その他

追加設定する座席位置には、「特大荷物スペース」の位置をわかりやすくお示しするために表示しているステッカーを、2021年3月より順次、貼り付けいたします。



特大荷物スペースとステッカー（東海道・山陽新幹線16両編成の例）

※画像はすべてイメージです